
第13期会頭就任挨拶

スローガン

魅力ある小牧の経済発展に向けて

2019年11月1日

小牧商工会議所

会頭 梶本 一 典

1. 就任に当たって

この度、成瀬前会頭はじめ会頭選考委員会そして皆様方のご推挙により第13期小牧商工会議所会頭に就任することになりました。大変な重責であります。微力ながら全力を尽くす所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。

成瀬前会頭は、9年にわたり地域経済の振興に尽くされ、小牧商工会議所の組織拡大に尽力され、「活力に富む地域経済の再生、振興、発展に向けて」取り組まれた功績は誠に大きく、その献身的な努力に対して感謝と敬意を表するものであります。

さて、昨今の内外情勢は世界的な調整局面を迎えていると言えます。

海外では、米中貿易摩擦の深刻化、地政学上のリスクの継続及び円高の進行など経済の不透明感が漂い始めており、海外の状況が私たちのビジネスにまで影響を与えるようになってきました。

また国内では、2020年に東京オリンピック開催、2027年にリニア新幹線の開業など明るい話題もありますが、少子高齢化社会や年金等の国家財政危機の懸念材料が顕在化してきました。そのため設備投資に対しては、どの企業も慎重であり、日本経済を牽引してきた中小企業を取り巻く環境は日ごとに厳しさを増しています。

小牧商工会議所は小牧市内の5,899の事業所のうち、3,400の事業所からなる団体であり、従事する人数は約50,000人と推定されます。小牧市の人口が153,000人であり、高齢者・お子さん・学生を除く労働人口は約10万人のため、小牧市の労働人口の約半分の方々が小牧市内の商工業に従事しておられることになります。

そこで小牧商工会議所といたしましては、小牧市内の商工業者の皆さんの意見や要望に真摯に耳を傾け、更なる小牧の発展につなげていきたいと考えています。

そのために、第13期の活動方針にある重点項目及び具体的取組みにつきまして、着実に実行してまいりますので、皆さまには一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2. 活動方針

第13期商工会議所の活動は、「魅力ある小牧の経済発展に向けて」をスローガンに掲げ、第12期に制定した重点項目を踏襲しつつ、課題解決型の活動を幅広く展開することで中小・小規模企業から信頼される商工会議所を目指します。

【スローガン】 魅力ある小牧の経済発展に向けて

【重点項目】

- 1) 中小・小規模企業の活力強化による地域産業の振興
- 2) 魅力ある地域づくりとふれあい交流活動の展開
- 3) 商工会議所機能の向上

3. 重点項目への具体的取り組み

1) 中小・小規模企業の活力強化による地域産業の振興

第12期の活動では、地域経済の活性化に向けて経営環境の整備に注力してきました。今期は、その成果を更に中小・小規模企業の経営強化に反映させるために、次の具体的活動を推進します。

- (1) 「小牧市中小企業振興基本条例」の趣旨に沿った地域産業振興のアクションプラン作成と展開
- (2) 「経営発達支援計画」の推進による小規模企業への伴走型経営支援活動の展開
- (3) 連携協定締結金融機関との中小企業支援プロジェクトの推進
- (4) 企業ブランドの向上支援に向けたSDGsへの取り組み支援
- (5) リスク管理の一環としてBCP普及活動、構築支援
- (6) こまき新産業振興センターとの協働による産業基盤の強化
- (7) こまきプレミアム商品券を活用した市内商業活性化支援

2) 魅力ある地域づくりとふれあい交流活動の展開

地域活性化の活動として、これまで「こまき産業フェスタ」、「名古屋コーチン発祥の地プロジェクト活動」、「楽市・楽座」などに取り組んできました。今期はこれら事業の見直しを含め、更なる充実を図るとともに、地域の活力向上に向けての取り組みを強化します。

- (1) こまき産業フェスタを通じた企業と市民のふれあいの場の創出
- (2) 名古屋コーチンプロジェクトの推進、小牧山・文化施設・祭り等を核とする観光事業の育成
- (3) 会員及び次世代をつなぐ交流事業の新規企画推進
- (4) 小牧ハイウェイオアシスの開業に向けた(株)オアシス小牧との連携

3) 商工会議所機能の向上

ここ数年来の国内市場の構造変化により、廃業による退会者が増加しています。そのため商工会議所の基盤である会員の増強ならびに会員サービスの向上に努めてまいります。

- (1) 会員拡大による組織強化
- (2) 会員満足度向上と魅力ある商工会議所への進展のための会員サービスの充実化
- (3) 企業の成長・支援につながる委員会・部会・ブロック会・青年部・女性会活動の推進（組織基盤の強化）
- (4) 効果的な情報提供と会議所の見える化を目指した広報活動の刷新
- (5) 中小企業支援強化のための所内のIT化推進、人材育成と働き方改革

以上の3つの重点項目を展開する上で、会員との双方向コミュニケーションの向上や行政、諸団体、近隣地域との連携強化など、現場主義の徹底とステークホルダーとの密接な連携により、課題解決に向けた活動を展開する所存です。

4. 結 び

現在、世界経済は下降局面にありますが、ロボット、自動運転、IoT、人工知能(AI)など、モノづくりや日常生活に大転換をもたらす新たな技術、商品が次々と試行され、実用化に向けての活動が進んでおります。

中小・小規模企業のパートナーとしての商工会議所は、このような流れをいち早く認識して、改革に立ち向かう先導的な役割を担う使命を帯びております。商工会議所は、一丸となって、この難局の時代の課題解決に向かって取り組みを進めてまいりますので、皆様の一層のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。